

外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第 15 回外傷サーベイランス委員会
事務局(担当課)	セーフコミュニティ推進室
開催日時	2017 年 5 月 18 日(木) 13 時 30 分～15 時 00 分
開催場所	本庁舎 9 階 第 1 委員会室
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 外傷サーベイランス委員会委員委嘱について 2 セーフコミュニティ再認証申請書案について 3 再認証取得までのスケジュールについて
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 政雄 2 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 富尾 淳 3 日本セーフコミュニティ推進機構代表理事 白石 陽子 4 池袋警察署生活安全課長代理 羽生田 稔 5 豊島消防署救急係長 梁田 宣明 7 豊島区池袋保健所長 佐藤 壽志子 8 豊島区政策経営部長 城山 佳胤 9 豊島区セーフコミュニティ推進室長 渡邊 明日香
配布資料	<p>資料 1 外傷サーベイランス委員会委員名簿</p> <p>資料 2 セーフコミュニティ再認証申請書(案)</p> <p>資料 3 再認証取得までのスケジュール</p>
議事要旨	<p>議事 1 外傷サーベイランス委員会、委員長及び委員の委嘱状の交付</p> <p>議事 2 (事務局よりセーフコミュニティ再認証申請書について説明) 専門委員: 今説明のあった再認証申請書について話合いたい。</p> <p>説明者: 指標 4 の予防対象の選定理由について、認証申請時のデータを使用することでよいか?</p> <p>専門委員: なぜこの対策委員会でこの取り組みを行っているのかと説明をするにあたり、他の自治体では、認証時のデータを用いて、この課題が出たので、この取り組みをしましたと説明しているところが多い。5 年間取り組んでみて、現状と変化しているところがあると思うが、基本的に認証時のデータを示して、取り組んできた結果、現在このようになっているとしたほうが審査員も分かりやすいと思う。バックグラウンドを示すもので良い。</p>

また、申請書はこのボリュームか。他の自治体は概ね 80 頁くらいが多い。制限はないが入れる情報が多いと、見るポイントが分かりづらくなってしまっているのではないかと懸念している。

他自治体と比べている経年データページについては、海外審査委員は 23 区という概念がない。東京には 23 区あるという説明を入れたほうが良いと思う。他にも、経年データの 2011(認証時)に縦線を入れると、認証前と認証後での違いが分かりやすい。

また、全体的に豊島区は人口が多いので、ケガ人が多く見えてしまう。逆に加害は少ないように思うので、全国平均を載せてみるのはどうか。

東京オリンピックもあるし、ハイリスクとして災害時の観光客への対応についてなど、観光に関しての安全はどうかと聞かれるのではないかと思う。

また、海外は、労働安全から始まる SC が多い。労働安全のデータがないので、区で無視しているのではなく、労働基準監督署がしっかりしているという明記があれば説得できると思う。

専門委員：区内に町工場はあるのか？

説明者：特定の地域にはあるが、どのようなケガが多いなど書けるほどの情報がない。

専門委員：多様すぎて、捉えにくいという課題をあげるのも一つの手。日本の状況をわからない審査員に対し、細かい回答を用意しておくほうがよいと思う。

専門委員：構成について。まず認証時に課題と目標を設定し、その結果、対策がうまくいったかを検証し、新たな課題を踏まえて、今後 5 年間の対策を講じるのだと認識している。その場合、この流れと構成が違うのではないか？現在のことか、過去のことなのかが分かりづらい。

専門委員：指標 4 と 6 の時系列が整っていない。指標 4 の予防対象の状況推移を指標 6 に持っていったらどうか？そうすれば指標 6 のインパクトが強くなる。

専門委員：指標の立て方がこの形式なので、動かさないほうが良いのではないか？

説明者：予防活動や対策委員会を設置した時の根拠で良いのであれば、指標 4 から予防対象の状況推移を外してもよいと思う。

	<p>専門委員:では、その部分は申請書から外して、手持ち資料として、質問時に回答できるように準備しておくのが良いのではないかな。</p> <p>説明者:重点課題のデータは、現状を示すために直近の平成 25 年度までのものに入れ替えてる。しかし重点課題を導きだしたデータは、本来最初に作成した時のものが良いのではないかと考えている。そのあたりを整理したい。</p> <p>専門委員:経年的なデータを載せているのであれば、当時のデータを太く囲むなどして、目立たせれば分かりやすくなるのではないかな。そのあたりは自治体によっても様々である。</p> <p>専門委員:ストーリーとしては、2010 年のデータで予防対象や重点課題を抽出して、その後このような活動をしてきました。活動をしてきた結果、このような経過を辿ってきましたと示すのが良いのではないかな。そして再認証に向けて、今回重点課題を見直しましたというものでしょうか？</p> <p>専門委員:2010 年から 2014 年までを合わせて分析すると、分かりづらいのではないかな。当時の課題が薄まっているのかも見えにくい。</p> <p>専門委員:第 3 章を外しても良いのかな？</p> <p>専門委員:後ろに添付資料として載せるのも一つの方法。もしくは経年的に見せて、この 5 年間で早く改善されたので、重点課題から外したというものがあれば、そのデータを載せているところもある。</p> <p>専門委員:申請書としては第 1 章で豊島区の概要、第 2 章で SC の位置づけ、第 3 章を飛ばして、第 4 章でこれまでの取り組みを指標ごとに説明するという流れでどうか。</p> <p>専門委員:重点課題が理にかなったものなのかを説明する必要はある。なぜ、この対策委員会を行ったのかはどこかで示す必要がある。</p> <p>説明者:できれば推移がわかるようなものにデータは差し替えて、工夫していきたい。データも厳選していきたい。</p> <p>専門委員:大きな特徴は指標 4 と 6 なので、特に指標 6 で成果が出ていると</p>
--	---

	<p>分かるように指標 5 の仕組みを使うと良い。指標 6 を見せていくのも良い。</p> <p>専門委員: それでは、構成はこのままが良いのではないか</p> <p>専門委員: 時系列でいうと指標 1～6 で合わない部分もあるが・・・。</p> <p>専門委員: 第 3 章は、対策委員会を立ち上げる根拠になるので、2010 年当初のデータをもとに作成し、経年変化を示すのではどうか。分かりにくい。認証申請時のデータの抜粋を載せることでもよいのではないか。</p> <p>専門委員: 状況が変わってきたものを指標 4 に載せているところもある。</p> <p>専門委員: では、このようなことを踏まえてブラッシュアップする方向でいく。</p> <p>専門委員: もう一点、指標の 3 と 4 の区別がつきにくい。</p> <p>専門委員: 豊島区の場合は、ハイリスクイコール重点課題と設定した結果、区別しにくいのだと思う。</p> <p>説明者: 当初は、指標 3 と 4 は分かれてなく、全部で 6 つの指標であった。そのためこのような形で設定した。今回指標が 7 つになったため、重なる部分も多くなった。</p> <p>専門委員: データを示す方向として、区民なのか、区内なのか聞かれたりしないのか？</p> <p>専門委員: 区内のことか、区民かについては、整理したほうがいいのかも知らない</p> <p>説明者: 救急搬送データでは、そこまではわからないので、やむ負えない部分がある。医療機関のデータでも可能かどうか、検証したが、区内のみでは取り出せない。</p> <p>専門委員: チャレンジしてみて難しかったというのもひとつの成果なので、それを標記しても良いと思う。</p> <p>議事 3 (区より再認証までのスケジュール説明)</p>
--	--

